

初代吉向松月

吉向焼の始祖、戸田治兵衛（初代吉向・十三軒松月）は、大坂十三村にて開窯しました。治兵衛は、故郷の伊予大洲藩（愛媛県大洲市）をはじめとする多くの藩の大名に召し抱えられ、藩窯の再興への尽力やお庭焼を興すなど、様々な貢献をしています。

江戸幕府十一代将軍徳川家斉の慶事に伴い、鶴と亀の食籠を献上したところ、亀の食籠がたいそう気にいられ「吉向」の窯号を賜ったという話はよく知られています。

十三村で誕生した吉向焼は、吉向松月（交野市私市）と吉向十三軒（東大阪市）の二家に受け継がれ、220年の時を経て現在でもしっかり息づいています。

本展示会では、第一幕としまして、吉向焼の歴史と先人たちの『茶道』とのかかわり、また文化人たちとの交流にスポットを当てました。

ぜひ一度お立ち寄りいただき、大阪の古窯「吉向焼」の世界に触れてみてはいかがでしょうか。



初代吉向作 楽朱釉黒茶碗



七世吉向松月作 鶴の喰籠・亀の置物



七世吉向松月作
扇面陶額 生田花朝原画「飛鳥のさと」



自画像 吉向治兵衛と妻さと

私市の窯元では作品展示や
工房見学を行っております

きっ こう しょう げつ がま
吉向松月窯

大阪府交野市私市8丁目25番6号
☎ 072-892-0811

<https://www.kikkogama.co.jp/>

